

RESPECT  
大切に思うこと

# 「暴力・暴言の根絶」と「アクセス・フォー・オール」をテーマに開催

日本サッカー協会（JFA）は10月14日、オンラインで2024年度のリスペクトシンポジウムを開催した。第1部では「暴力・暴言の根絶～セーフゲーディングポリシーをクラブの日常へ～」をテーマに、暴力・暴言の根絶をもう一步先に進めるための情報共有とディスカッションを実施。第2部では「アクセス・フォー・オール」をテーマに、誰もがサッカーの「する」「見る」「関わる」に「アクセス」できる環境を実現するための指針が共有された。ここではシンポジウムで共有されたそれぞれの取り組みを紹介する。

## はじめに

JFAは2009年に「リスペクトプロジェクト」を立ち上げ、リスペクト・フェアプレーの取り組みを推進してきた。2014年からは9月を強化月間とし、「JFA リスペクト・フェアプレーデイズ」の名の下に地域・都道府県サッカー協会、各カテゴリーのトップリーグ、各種連盟と協働し、各試合において「リスペクト・フェアプレー宣言」を行ったり、試合会場でバナーを掲出したりするほか、リスペクトシンポジウムを開催することでその浸透を図っている。

今年のリスペクトシンポジウムは、「暴力・暴言の根絶」と「アクセス・フォー・オール」の二つをテーマに開催された。

冒頭、動画メッセージであいさつした宮本恒靖JFA会長は「リスペクトは、サッカーに関わる全ての人々や物ごとを大切に思い、互いに尊重し、社会にポジティブな影響を与えるための基盤となるもの」と語り、今年4月に日本サッカー界として「アクセス・フォー・オール宣言」を発表したこと、国際サッカー連盟（FIFA）が2026年までの戦略の中で「セーフゲーディング」にコミットすることを表明していることを紹介。また、パリオリンピックで選手への誹謗中傷が問

題になったことに言及し、「世界のサッカー界全体でリスペクトを推進していく必要がある。引き続き、日本サッカー界全体で暴力や暴言のない、安全・安心な環境をつくっていかれるよう一緒に取り組んでいきましょう」と投げかけた。

## 第1部：暴力・暴言の根絶

### 「JFAの取り組み」

サッカーを心から楽しむためにウェルフェアオフィサーを全クラブに配置

JFAは、「しない」「させない」「許さない」をキーワードにサッカー界における暴力・暴言の根絶に取り組んでいる。

15年には、ウェルフェアオフィサー（WO）制度を開始した。「ウェルフェア」とは、安心・安全、幸福な状態を意味する言葉で、WOはそれを守る担当者のこと。組織、大会、クラブにそれぞれのWOを置くことで、サッカーファミリーの安心・安全を守り、より快適にサッカーを楽しむ環境を広げていくという施策だ（表1）。

JFA リスペクト委員会の今井純子委員長は「暴力・暴言といったネガティブなものがないようにということ以上に、やはりサッカーやスポーツをする環境は幸せて、

いろんな楽しみがあるもの。その権利を守りたい」とWOの役割を説明する。

また、JFAは全てのクラブにクラブウェルフェアオフィサー（CWO）がいる状態をつくってきたいとしている。そしてCWOを中心に、リスペクト・フェアプレーにおいてクラブが大切にすることを明文化し、指導者、選手、スタッフ、保護者ら携わる全ての人々と共有して約束事とする。今井委員長は「リスペクト・フェアプレーはCWOだけが推進するものではなく、クラブに関わる全員の役割。みんなで取り組み、何か問題があったときにはクラブの約束事に立ち返って議論できるようにす

ることが大事」と語る。

JFAは、CWOをサポートするためのハンドブックも作成し、公式ウェブサイトで展開している（表1）。

子どもたちの声を聞く  
それに大人はどう応えるか

昨年引き続き、JFAは小学5年生から高校3年生の子どもたちを対象にパブリックコメントを実施した（表2）。2度目となる今年は、「相談」をトピックに子どもたちの声を拾った。

暴力根絶相談窓口の存在について、昨年は知らない割合が90%だったが今年77%と、徐々にその認知度は上がっている。なお、

■表1 ウェルフェアオフィサーの種類

- ① **ウェルフェアオフィサー・ジェネラル（WOG）**  
各サッカー協会、連盟においてリスペクト・フェアプレーを推進する担当者
- ② **マッチウェルフェアオフィサー（MWO）**  
競技会においてリスペクト・フェアプレーを推進する責任者
- ③ **クラブウェルフェアオフィサー（CWO）**  
所属クラブにおいてリスペクト・フェアプレーを推進するリーダー  
[https://www.jfa.jp/respect/welfare\\_officer.html](https://www.jfa.jp/respect/welfare_officer.html)
- **クラブウェルフェアオフィサー・ハンドブック**  
～安心・安全な環境をみんなで作るために～  
[https://www.jfa.jp/respect/safety\\_protection/welfare\\_officer\\_handbook.pdf](https://www.jfa.jp/respect/safety_protection/welfare_officer_handbook.pdf)



90%の子どもたちがサッカーは楽しいと感じていることに、サッカーは楽しいけれど嫌な思いをした、やめたくなった経験があるという子どもは半数以上に上り、その傾向は年代が上がるにつれて大きくなっていることが分かった。その理由は指導者やチームメイト、環境に関するものなどさまざま。そうした状況になったと